

地震後の ガスの安全な復帰方法

地震の後にガスが止まってしまった場合、安全に対処するための方法を確認しておきましょう。



地震がおきたとき

まずは火を消すことより自分の安全を確保します。ガス使用時に震度5以上の揺れがあった場合、都市ガス、LPガス共にガスメーター（マイコンメーター）が揺れを検知してガスを遮断します。



周囲の安全が確認できたら、ガスの火を確認し、火が点いていたら消します。

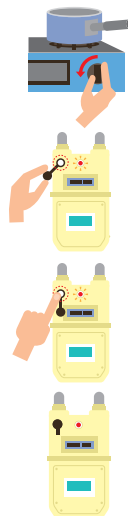


ガス復帰の仕方

復帰させる前に、ガスのにおいがしないか確認しましょう。

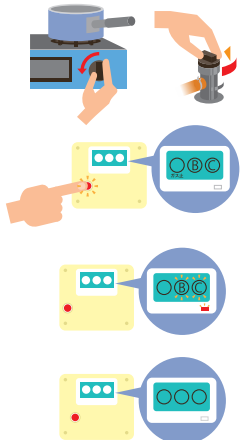
〈都市ガス〉の場合

- 1 すべてのガス機器の使用を止める。未使用のガス栓をすべて閉じる。
- 2 ガスメーターで赤いランプの点滅を確認。復帰ボタンのキャップを外す。
- 3 復帰ボタンを奥まで押し、ランプの点灯を確認したら手を離す。
- 4 3分ほど待って赤いランプの点滅が消えたら使用可能。復帰ボタンのキャップを元に戻す。



〈LPガス〉の場合

- 1 器具栓と未使用のガス栓をすべて閉める。
- 2 左側のボタンを押す。「ガス止」の文字が消える。
- 3 液晶の文字とランプが点滅したら1分間待つ。
- 4 液晶の文字とランプが消えたら復帰完了。



※ガスが復帰しない場合は、ご契約のガス会社にご連絡ください。

出典：政府広報



弊社は「地域防災ステーション」として災害発生時に備え、地域の皆様と一緒に防災力を高めるために「まもりとそなえ」をお配りしています。ぜひお手元に保管して、ご家族や近隣の皆様とご覧ください。



住まいに関するお悩みや
リフォーム全般、耐震診断まで
お気軽にご相談ください。

一級建築士事務所
株式会社 **住まい工房大栄**
〒579-8036 大阪府東大阪市鷹殿町 19-9



防災士の
いるお店

0120-417-646



住まい工房大栄

検索



うちのお掃除で使える
無料クーポンプレゼント！



家族と暮らしを守る

まもりとそなえ

contents

- 防災の基礎知識&対策-火山災害 ■ 安心・快適な住まいづくり-屋根・外壁の塗り替え
- 防災アイデア-身の回りのモノでできる応急手当
- 防災レシピ-備蓄食材でつくる「さばの味噌煮缶と根菜のトマト煮」





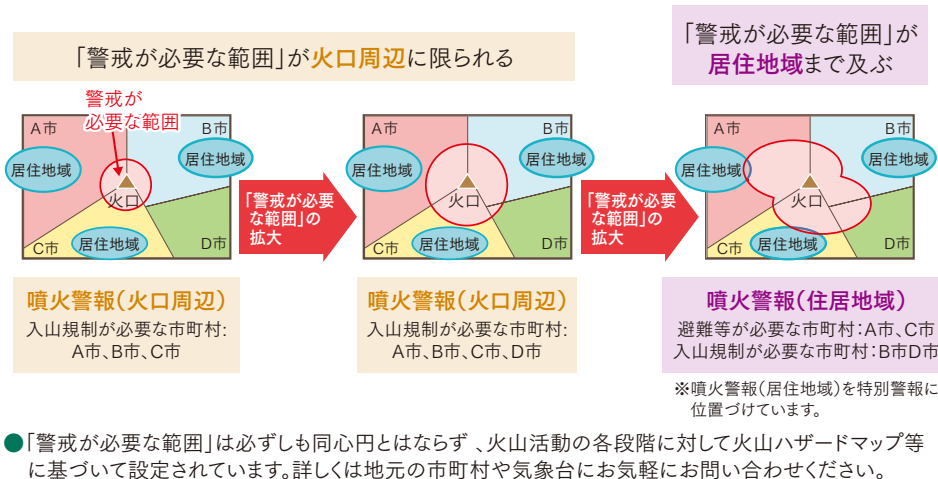
防災の基礎知識&対策

〈火山災害〉 火山噴火により、降灰・火砕流など大きな災害を引き起こします。命を守るためには正しい情報収集と早めの行動が重要です。

火山噴火から身を守るための情報

噴火警報

気象庁は、火山災害軽減のため、全国111の活火山を対象として「噴火警報」を発表しています。噴火警報は、大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流など、発生から短時間で火口周辺や居住地域に到達し、避難までの時間的猶予がほとんどない危険な火山現象が予想される場合に、「警戒が必要な範囲」（生命に危険を及ぼす範囲、右図の○の範囲）を明示して発表します。なお、「警戒が必要な範囲」が居住地域まで及ぶ場合に発表する「噴火警報（居住地域）」を特別警報として位置づけています。日頃から内容を正しく理解し、速やかに行動をとれるように備えておきましょう。



噴火警報が対象としている火山現象

大きな噴石

数十cm以上の岩石が猛烈な勢いで飛散し屋根を突き破るなど建物や人体に被害を及ぼします。



火砕流

高温の火山灰やガスなどが猛烈な速さで押し寄せ一帯を焼失させるなどの被害が生じます。



融雪型火山泥流

火山活動でとけた雪が土砂や灰とともに高速で流れ一帯を埋めつくす現象で、通過域では壊滅的な被害が生じます。



●噴火警報では、主にこれらの現象に対する「警戒が必要な範囲」を発表します。これらの現象は、発生を確認してから避難するのでは間に合わないため、噴火警報を活用した事前の避難や入山規制等が必要です。



安心・快適な住まいづくり

定期的な塗り替えで家の耐久性をアップしよう！



屋根・外壁の塗り替えリフォーム

塗料の種類によって価格・耐久性が変わりますが、耐久性の高い塗料なら長期的にみれば、塗装回数が減りお得になることも。さらに、屋根と外壁を同時に行えば足場を共有できるのでおすすめです。

【塗料選びのポイント】

◆シリコンが主流

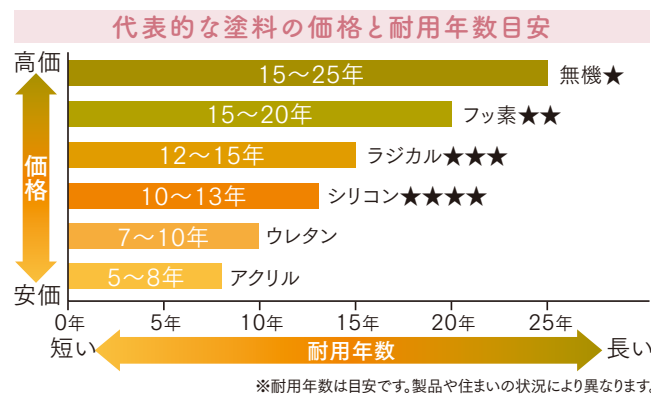
「シリコン」が耐久性と価格のバランスが良く主流に。次に塗膜が劣化しにくい「ラジカル」が人気。「フッ素」は高価だが耐久性は高い。

◆耐久性の高さなら「無機」

一般的な有機物の樹脂ではなく、無機物を配合した塗料。紫外線に強く、最も耐久性が高い。

◆その他の塗料

クラックを抑える「ピュアアクリル」、雨水で汚れを落とせる「光触媒」などがあり、太陽を反射する「遮熱塗料」は屋根におすすめ。

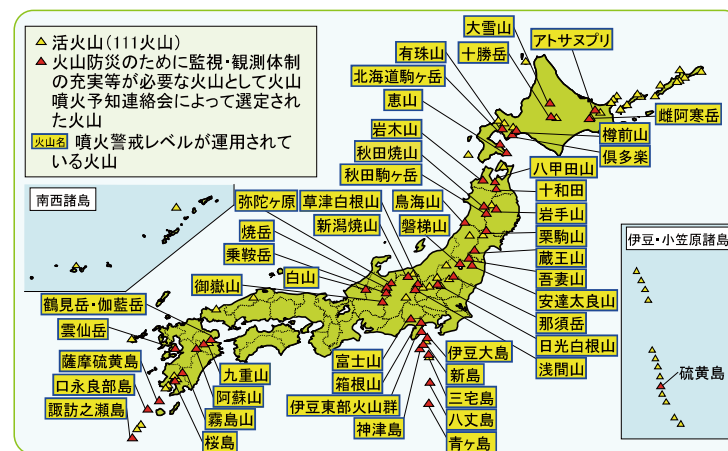


噴火警戒レベル

気象庁は、噴火が予想される場合には、「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民が「とるべき防災対応」を5段階に区分して「噴火警戒レベル」を発表しています。各レベルに応じた行動をとりましょう。

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード
特別警報	噴火警報（居住地域） 又は噴火警報	居住地域 及び それより火口側	レベル5 避難準備
			レベル4 入山規制
警報	噴火警報（火口周辺） 又は火口周辺警報	火口から 居住地域近くまで	レベル3 火口周辺規制
		火口周辺	レベル2 火口周辺規制
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意

●噴火警戒レベルが適用されている火山



気象庁が発表する火山情報

気象庁は、いろいろな火山の情報を出しています。日頃から情報を確認し、いざという時に冷静に行動できるように備えておきましょう。

噴火警報 火山周辺の警戒を呼びかける情報

火山の情報に関する解説情報(臨時)
火山活動の状況や解析結果を解説

噴火速報 噴火発生を即座に知らせる情報

降灰予報 火山灰の降下範囲と影響を予測

▶気象庁「火山情報」

気象庁 噴火警報 噴火速報 検索



▶気象庁「降灰情報」

気象庁 降灰予報 検索



防災アイデア & 防災レシピ

アイデア

身近なモノでできる応急手当

災害時、手当のための道具が手元がない場合には、身近なもので対応しましょう。

●レジ袋

両端を切れば三角巾として使えます。



●新聞紙・雑誌

丸めて骨折時の添木代わりに活用。折りたたみ傘でも代用できます。



●ラップ

止血後に巻いて一時的な包帯代わりにできます。



●ペットボトル

フタに穴をあけ、傷口の洗浄や手洗いに利用します。



レシピ

備蓄食材でつくる

「さばの味噌煮缶と根菜のトマト煮」

材料(2食分)

- ▶さば味噌煮 1缶(190グラム)
- ▶カレーの具などの水煮野菜 1袋(300グラム)
- ▶カットトマト(水煮) 1/4缶(100グラム)
- ▶醤油 少々▶(あれば)小ネギ(小口切り) 適量

- 鍋に水煮野菜を入れ、トマトとさばを崩さないように汁ごと加える。
 - 中火にかけ、ふつふつとしたら、10分程度煮る。
 - お好みで醤油で味を調える。器に盛り、あれば小ネギを散らして完成。
- 水煮野菜は袋の表示を確認してから使う。液汁ごと使用できるものは汁ごと入れ、洗って使用するものは、洗った具と水大さじ3程度を入れる。

レシピは「東京都板橋区・防災レシピブック」より……………

ホームページはこちら▼
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/bousai/1029032/1031493.html>

